

「音楽の授業づくりジャーナル」 6号 録画・音声資料

【特集】 Creative Music と作曲家 II

(下記の T=Teacher, A=Adviser, S=Supporter)

(ページ数は、ジャーナル内の掲載ページ)

1 I. ストラヴィンスキー 「兵士の物語」 から

授業からいくつかの場面

20p

【録画資料 1】 <https://youtu.be/IUa3GMajbVI>

【録画資料 2】 <https://youtu.be/ZKVAAdoZycrM>

【録画資料 3】 <https://youtu.be/qGbnwX1re4M>

【録画資料 4】 <https://youtu.be/p7FiPpl6RKg>

【録画資料 5】 <https://youtu.be/qMbTkpvvpB28>

授業中に生徒がつくった音楽は即興的な作品にとどまったが、上記②に参加した生徒は、動機労作による音楽作品をつくることができた。このことは、生徒の音楽観に大きな影響を与えたと考えている。

28p

【録音資料 1】 <https://www.icme.jp/jd/06/metamor4.mp3>

「metamor 4」～ストラヴィンスキー「兵士の行進」のモチーフを使って～

【録音資料 2】 <https://www.icme.jp/jd/06/emile.mp3>

「エミール」～ストラヴィンスキー「兵士のヴァイオリン」のモチーフを使って～

【録音資料 3】 <https://www.icme.jp/jd/06/asatoyoru.mp3>

「朝と夜」～ストラヴィンスキー「兵士のヴァイオリン」のモチーフを使って～

【録音資料 4】 <https://www.icme.jp/jd/06/heishi.mp3>

ストラヴィンスキー「兵士のヴァイオリン」のモチーフを使って

2 森田 泰之進「風は語りかけます」

授業の様子と子どもたちの作品

38p

【録画資料 1】説明① <https://youtu.be/zgHWQjrG-No>

授業に集中できよう明確な発問で説明すること，気をそらさぬよう明るい表情を心がけた。即興演奏終わりの合図を忘れぬよう，聴きとり後すぐ，音型を真似して口ずさむ活動を入れた。

【録画資料 2】班活動① <https://youtu.be/Sgu00yeVWoc>

班活動では1人のこらず頭を寄せ合い，即興演奏の課題に意欲的に取り組んでいるかを見取る。固定化されたカメラで撮影の為，いつものように各班の近くへ行くことはできなかったが，どの児童も集中して取り組む様子が見える。

【録画資料 3】一斉練習① <https://youtu.be/zJLM5kib1QM>

ピアノの音で班活動を終了。一斉練習について短く発問。初めて聴く筆箒、阮咸の音色につられてしまう児童が続出。もう1度、教師が拍を数えながら一斉練習した後、また班で練習する。

【録画資料 4】班ごとに発表① <https://youtu.be/fGvzGT6WyPo>

くりかえしを使った即興演奏の班。リズムや打つ楽器について，意識して2回目に変化をつけているところが興味深い。

【録画資料 5】班ごとに発表② <https://youtu.be/FdcJBWF4hXg>

各自が思いのままに即興演奏し，一連の流れができ，くりかえす毎に変化が生まれているのが工夫されていて面白い。

【録画資料 6】説明② <https://youtu.be/bY1YK4xlJgA>

先ほどの演奏に加えて，好きなところで打つ，等の工夫を入れて班ごとに練習，の発問。気に入っているものはそのままでも良いことも伝える。

【録画資料 7】一斉練習② ほめ言葉 <https://youtu.be/yJgfbVKEiN8>

一斉練習時，終わりの合図を良く聴いていることをほめ，そのタイミングで良いことを確かめる。また，自然なアイコンタクトができていることも素晴らしいとほめ，身体全体が音楽的な表現だとほめる。

【録画資料 8】2班で合奏① <https://youtu.be/b5gMwPG2KSY>

くりかえしを使った班のリズムや打つ楽器に変化が見られる。打つ楽器の数が増えたり，リズムが自由になったり，明らかな変化が見られる。

【録画資料 9】2班で合奏② <https://youtu.be/XbUgifj6X44>

音色を大事にしつつ，回を重ねる毎に，生き生きと即興表現できるようになる。楽器に伸ばす手に迷いがなくなってきた様子が見える。

【録画資料 10】感想 お隣と <https://youtu.be/OYYlrWpdg3I>

どの児童も気楽に隣と言葉を交わす。この身近なコミュニケーションを通して共感を覚えたり、違う意見にふれて様々な角度から自分の世界を広げたりすることができる。

【録画資料 11】3, 4 列目感想発表 <https://youtu.be/CHcJR6LXTUk>

ペア学習を生かし、1人ずつ感想を発表するのは、誰もが意見を言えるようにするためである。さっと立つ姿もヤル気があり素晴らしいとほめるのは、誰もができて当然と思う様な、何気ないところから個々に自信を育むためである。知的に楽しいリズム課題が、普段は口の重い児童も意見を述べる姿につながった。

3 菅 裕 プリペアード箏のための作品「木花さらし」

生徒たちの作品

61p

【録画資料 作品（1）=A クラス】 <https://youtu.be/2BAI4soVlyA>

【録画資料 作品（2）=B クラス】 <https://youtu.be/HTrpALQjvWw>

Sの「鳥のように」の演奏の視聴と、Aの作曲した「木花さらし」をSとTの演奏を視聴して、自分達の1分の音楽を再考する直前の作品は、即興的に何とか4人で15秒の音楽を1分に引き延ばした苦肉の作品である。

【録画資料 作品（3）=A クラス完成版】 <https://youtu.be/m-psVasmu94>

【録画資料 作品（4）=B クラス完成版】 <https://youtu.be/Q3pJkn6JqrA>

【作品（3）（4）】は上記の学習の後、工夫の再考を話し合っ完成させた1分の音楽である。

【録画資料】[木花ざらし] https://youtu.be/fLn_RiPyYhU

64p

演奏家（吉原佐知子による演奏）

4 松下行馬と糀場富美子「広島レクイエム」

子どもの作品

88p

【音声資料 1】 <https://www.icme.jp/jd/06/12music1.mp3>

【音声資料 2】 <https://www.icme.jp/jd/06/12music2.mp3>

【音声資料 3】 <https://www.icme.jp/jd/06/12music3.mp3>

5 La Verne C. de la Peña “Pugmumuni” をもとに

授業後改めて録画した、児童の発表のみの動画。1クラスずつつなげている。

111~112p

【録画資料 1】 6 の 1 <https://youtu.be/fMAcLSfTM2k>

【録画資料 2】 6 の 2 <https://youtu.be/GrSPA15m9Cc>

【録画資料 3】 6 の 3 <https://youtu.be/LgxymE4KseQ>

【音声資料 1】 La Verne C. de la Peña “Pugmumuni” の演奏
フィリピンの The Miriam College High school の合唱による
<https://www.icme.jp/jd/06/pagmumuni.mp3>